

所報

題字：武田満之校長（平成9年、野幌中学校）

第134号 平成29年11月29日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町24-6 TEL 381-1058
(主な内容)

- ・江別市教職員冬期セミナー
- ・道研連研究大会(日高・浦河町)
- ・「出前授業」(後期)

平成29年度江別市教職員冬期セミナー

平成29年度の冬期セミナーを下記のとおり開催いたします。
会場や使用機材の関係で、受講人数に制約がありますが、多数の参加を期待します。

<実施要項>

1. 目的 江別市の教育目標の達成及び多様化する教育課題解決のため、専門的知識や実践的指導力など、教職員に求められる資質の向上を図る。
2. 主催 江別市教育委員会（江別市教育研究所）
3. 期日 平成30年1月 9日（火）～10日（水） 2日間
4. 対象 江別市教職員、当別町・新篠津村教職員
（校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、事務職員等）
5. 会場 野幌公民館視聴覚室、江別第一小学校、市民会館37号室
6. 受講方法 参加者の希望により講座毎に選択するものとする。
→ 12月11日（月）までに申し込み
7. 日程

9:15 9:30		12:00 12:40 13:00		15:30	
1/9 (火)	受付	【講義・演習】 『小学校外国語教育』 講師：松永 祐子 研究研修主事 (北海道立教育研究所) 野幌公民館視聴覚室《50名》	昼食	受付	<u>13:00～14:30</u> 【講義・演習】 『プログラミング教育』 講師：小野 篤夫 主査 (北海道立教育研究所) 野幌公民館視聴覚室《50名》
1/10 (水)	受付	【講義・演習】 『ICT研修』 講師：山口 広宣 教諭 実践：青木 啓洋 教諭 石原 寿一 教諭 佐藤 一 教諭 ◎タブレットの操作方法 ◎実践発表 会場：江別第一小学校《35名》	昼食	受付	【講義・演習】 『特別支援教育』 講師：橋本 竜作 准教授 (北海道医療大学) ◎特別支援教育の動向 市民会館 37号室《50名》

道研連研究発表大会（日高大会）の報告

平成29年8月31日（木）から9月1日（金）にかけて、「平成29年度第72回北海道教育研究所連盟研究発表大会（日高大会）兼 第59回全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会」が、浦河町で開催され、事務局長の宮野が参加しましたので、その概要を報告いたします。

《第1日目》

I 開会式

- 1 主催者挨拶 ○ 前川 洋
北海道教育研究所連盟 委員長
(北海道立教育研究所 所長)
- 2 祝 辞 ○ 有松 育子 全国教育研究所連盟 委員長
(藤原 文雄 国立教育政策研究所 副部長 代読)
○ 赤間 幸人 北海道教育庁 日高教育局長



II 全体発表

第16次共同研究（1年次）の経過報告

「これからの時代の教員に求められる資質・能力の向上に係る支援のあり方」

III 記念講演

「北海道の現状を踏まえた教員研修のあり方」

- 講師：藤原 文雄 氏
国立教育政策研究所 初等中等教育研究部
副部長・総括研究官
- 講演内容
 - ・教育政策上の課題
新学習指導要領の円滑な実施（教育水準の維持・向上のため）
貧困家庭への支援（貧困の連鎖を止める）
 - ・学校現場の役割
目の前の子ども一人一人の幸せのため、カリキュラムを考え、地域との連携を
実践する。
 - ・教育研究所の役割は？
学校は「実践」、役所は「政策」
「橋渡し」「翻訳者」「仲介者」として、社会を見ている「政策」を子どもを見
ている「学校実践」に翻訳して注入する働き。
→「大人を育てるプロとして」「翻訳者らしく」仕事をする事。
 - ・国の政策の中心は、「次世代の学校・地域」創生プランにある4つの政策と学校
間連携（4プラス1）
4つの政策→「学校で学んだことが社会で生きる」（社会に開かれた教育課程）、
「資質能力の向上」（教員改革）、「チーム学校」（学校の組織運営改革）、「地域
と学校の連携・協働」（地域からの学校改革・地域創生、地域学校協働本部）
 - ・北海道の教員の良さ
教育に対して熱心。地域と密着した取組を有効に活用している。
 - ・研究所員
日々の教育実践の他に、北海道の動向や管内の状況を踏まえながら取組を行っ
ている。



研究所員の心構えとして、教員を教えるレンズを増やし幸せにすること。

～演習～

【演習題】「平成29年8月31日に、北海道教育委員会柴田達夫教育長は、北海道教職員の資質・能力向上審議会に対し、『新しい時代の教育に向けた北海道教職員の資質・能力の向上に関する総合的な方策について』諮問した。あなたは、一回目の会議で北海道教育研究所連盟を代表し、『北海道の教職員の資質・能力に関する良さと課題』及び『改善のための総合的な方策・実例』についてプレゼンすることになった。どのような内容を盛り込むか。



- 審議会委員らしく考える (C L A Councilmember-Like Activity)
- K J 法

《第2日目》

IV Skype の体験 (道研の遠隔研修の取組)

- 1 オンデマンド方式による研修
- 2 沿革システム方式による研修
- 3 ビデオ通話ソフトウェア方式による研修



V 部会協議

第2部会①



テーマC 「新たな教育課題 (ICTを活用した授業づくり等) の解決を図る研究」

研究発表1 「ICT (遠隔学習) を活用した教育の充実を図る研究所の取組」

～双方向、ミーティングシステムによる交流学习の充実を目指して～

岩見沢市立教育研究所 所長 渡邊 強

- ・「岩見沢市自治体ネットワークセンター」の開設(平成9年)
- ・双方向遠隔学習基本システムが構築される。
- ・通信衛星利用遠隔学習を開始 (小学校モデル校4校) (平成13年)
- ・岩見沢市立教育研究所が道教育大学岩見沢校の構内に併設。(平成19年)

- ・通信衛星の代わりにテレビ会議ミーティングシステムを導入(平成26年)

第2部会②

テーマD 「社会に開かれた教育課程実現のため地域に応じた教材開発や授業改善を図る研究」

研究発表2 「地域素材の効果的な教材化」

～あなたにもできる！ 北方領土を使った学習～
根室教育研究所 所員 水口 拓真

- ・「北方領土学習ハンドブック」の作成 (教材データDVD付き)



- ①写真&映像素材と活用例
 - ②即戦力！フラッシュ集
 - ③授業資料～表・ワークシート・実践集など
 - ④場所～施設活用例
- ・使いやすさを追求した教材→管内全教員と学校に配布



「朝運動プログラム」普及出前授業【後期】



前期に引き続き、北光小学校といずみ野小学校を会場にして後期の出前授業が行われました。北光小学校では、角山小学校の児童と合同で行い、それぞれ全校児童が参加しました。



今回は、①「ジャンケンダッシュ」②「宝あつめ」③「紙ボール de 花火」④「ぐるぐるオセロ」⑤「カンガルーの郵便屋さん」の5種目を行いました。

①ジャンケンダッシュ

北光小学校は11月8日

(水)に行い、いずみ野小学校は11月10日(金)に実施しました。



た方

が勝ちとなります。

②宝あつめ



子どもたちのアンケートを見ると、ほぼ100%の子が「とても楽しかった」と回答し、「またきてほしいです。」とか「来年もやりたいです。」といった感想が寄せられました。一番人気があったのは、「ジャンケンダッシュ」と「宝あつめ」でした。先生方からは、「運動量がすごいと思います」「とても楽しそうに活動していました。知らず知らずのうちに引き込まれ、全力で運動していたように思います。」「学生さんたちがキビキビ動いて、お手本を見せてくださるので、分かりやすかったしムダがなく良かったです。」「こちらも学ぶことができました。」といった感想が寄せられました。

来年度は、第一小学校と江別太小学校で実施する予定です。

③紙ボール de 花火



④ぐるぐるオセロ



⑤カンガルーの郵便屋さん

